

●7月末、同志11名と新会派自民党新政会を結成しました。かねてから旧会派内では互いの信頼感に亀裂が生じ改革を迫られておりました。私自身も数の上に胡坐をかいた議会運営には物足りなさや疑問を感じており、なぜ賛成か反対かの議論のない、討論もせずに採決に付する様な政治感覚の違いには止むを得ず袂を別つ事としました。

今後は今までの反省に立って当選回数や役職に拘らず活発な議論と政策立案をモットーに、多様化していく市民の負託に的確に応える新しい自民党をめざしてまいります。

●その余波を受け、9月議会を前に凶らずも議会運営委員長に就任致しました。本議会史上初の一年生委員長とは光栄なことですが、もともと考えの異なる各会派の意見調整をし円滑に議会をすすめるのは正に重責で、両角議長と議案そして時計とのにらめっここの毎日でした。残念なのは慣例で在任中、一般質問や討論に立てない事です。

●各地で参加した盆踊りや祭りは地域コミュニティの基本だと改めて思いました。

その集大成であるはずの八王子まつりのマンネリ化は否めないところです。特に旧市内を中心にした祭りだけにニュータウン等の新住民の皆さんには馴染みもうすく、参加の機会もありません。祭りのない地域の子供達に旧市内の伝統ある山車や神輿を担ぐ機会を与え、新旧住民の交流を深める市民イベントにしたいと思います。

●交通対策特別委員会では市内の交通渋滞の解消と元八王子や川口方面の西部地域の利便性を考え新交通システム（ミニ地下鉄）の本格的導入の検討をはじめました。今までのモノレール構想のみに拘らず、本市独自の方法を考えます。腰が重い理事者側に対し「こんな大事業は目先の予算の心配よりまずはやる気が先だ」と党派を超えて呼び掛け、早速都営9号線と広島市の新交通（専用軌道電気自動車）を視察に行きました。いずれも、構想から完成まで20数年かかっていますが、粘り強く実現に向け、長い？政治活動で取組む決意です。